



主題名 同和問題の解決に向けて

教材名 我が子へ（保護者手紙より）

人権学習の視点 個別的な視点「同和問題」

主題・教材について この教材は、被差別部落出身の母親が我が子への思いを綴ったものである。「差別は差別をする側の問題である。」と言いながらも、自らを強く律し生きてこられた様子がうかがえる。多くの人々の長年に渡る様々な取組の中で、守り育てられてきたことに感謝しながら、自分自身も差別をなくすために生きていきたい、そして、我が子にもその思いを受け継いでほしいと願う母親の思いに触れ、意識面での差別について考えさせたい。
そして、同和問題に対し、差別をなくすために自分は何をするのか、自分はどのように生きていくのか、を考えさせたい。

ねらい

- 被差別部落出身である母親が我が子へ贈った手紙をもとに、差別のある社会に流されず、また負けず、強くたくましく、そして幸せに生きてほしいという母親の願いをくみ取る。
- 同和問題の解決に向け、他人事にはせず差別をなくす人に育ってほしいという母親の願いをもとに、差別や偏見のない社会の実現に向けて、自分自身がどう生きていくのかを考える。

本時の展開

(1時間扱い) ※発展編(2時間扱い)はCDに紹介

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○同和問題は国民的課題であることを確認する。	一斉	○同和問題は国民的課題であることを知る。		
展開	「我が子へ」を読み、母親の思いを考えよう。				
	○母親の我が子への願いをもとに、部落差別について考えさせる。 ※(発問例)「でも、残念なことに差別だけはまだ残っています。」と書かれている差別とは、どのような差別を意味しているのでしょうか。	個別 一斉	①お母さんの気持ちが一番表れているところを選び、それについて自分はどのように思うかをワークシートに書いて、発表し合う。	○選んだ文章(部分)を書き写し、それについてどう思うかを書かせる。 ○机間巡視し、できるだけ生徒の意見をつかんでおく。 ※ここでの差別は、心の差別であることをおさえない。 (例) ●差別に負けず、強く生きてほしい。差別をなくす人になってほしい。 ●多くの人と手をつなぎ、支え合い生きていてほしい。 ●人の心の痛みがわかる人間になってほしい。	資料集「我が子へ」 ワークシート 項目①
	<「投げかけ」の例> ※「なぜ、部落差別は差別する人の問題であると言っているのでしょうか。」	個別 一斉	②お母さんの願っていることを考え、ワークシートに書いて、意見を発表し合う。 ○部落差別は差別する人の問題であると言っているのはどういうことを指しているのかを考え、意見を出し合う。	○差別する側の意識を変えることなくして、問題は解決しないことをおさえる。	ワークシート 項目②
まとめ	手紙を読んで、自分はどのようにしていきたいと思うか考えをまとめよう。				
	○母の我が子に対する愛情の深さと、差別に立ち向かう強い意志をもつことの大切さについてまとめる。	個別	○教師の話聞き、自分の考えをワークシートにまとめて書く。	○部落差別の解消に向けた教師の決意を語る。	ワークシート 項目③

評価

- 被差別部落出身である母親が我が子へ贈った手紙をもとに、差別のある社会に流されず、また負けず、強くたくましく、そして幸せに生きてほしいという願いをくみ取ることができたか。
- 同和問題の解決に向け、他人事にはせず差別をなくす人に育ってほしいという母親の願いをもとに、差別や偏見のない社会の実現に向けて、自分自身がどう生きていくのかを考えることができたか。